

野付の千島桜治療業務実施報告書

2024 年 11 月 樹木医 金田正弘

1. 千島桜の治療（5 月）

（イ）着工前と完成



着工前



完成



着工前



完成



着工前



完成



着工前



完成

(ロ) 根系の施肥作業



土壌改良資材

根系周辺の土壌改良及び施肥作業を実施します。資材は、ピートモス、もみがらくん炭、パーライト、鹿沼土、赤玉土、火山礫を使用します。



除草状況



混合土の作成



混合状況

柵内の除草後、上記土壌改良資材を搬入し混合土を作成します。各資材を搬入し、よく混合し施肥に使う混合土を作りました。



施肥の資材



穴あけ作業

施肥の資材は、上記作成の混合土に、まるやま 3 号固形肥料、イーグル（高度化成肥料 15-15-15）を使用します。まず根系周辺に無数の穴をあけます（金棒使用、T=15～20cm）。



まるやま 3 号固形肥料の施用



混合土の施用



イーグル高度化成肥料の施用



施肥の手順は、先にあけた 15cm 内外の穴に、まるやま 3 号固型肥料を入れ混合土で埋戻します。その上にイーグル粒状の化成肥料を 10 g 内外施用します。



フジミンフォレストの資材



フジミンの施用



1 箇所当の施肥完成



散水状況

最後にフジミンフォレスト（ペレット状の肥料活成剤）を少量散布し 1 箇所当の施肥が完成です。じょうろで散水しています。



着工前



完成



着工前



完成

(ハ) 幹傷及び腐朽の処置



着工前



保護剤の塗布



塗布状況



完成

何本にもわかれた太い幹の一部は、大きな傷になり、材部の腐朽が広がっています。傷口の整形後、保護剤（トップジンMペースト）を塗布しました。

(二) 枝切り作業



枝切り作業



切口の保護

樹冠内部の枝は、多くの枯枝が発生します。又、てんぐ巣病感染枝も散見され、不用な枝と共にできるだけ切除しています。ハサミ、ノコ、チェーンソー等使用し枝切りを実施します。

枝の切口は、保護剤（トップジン M ペースト）を塗布しました。

（ホ）薬剤散布作業



幼果菌核病の葉腐れ症状



実腐れ症状



長年にわたり幼果菌核病（モニリア病菌）が発生しています。5月の開花後まもなく開葉し、感染するとその若い葉が萎れてきます。葉は、熱湯をかけたように下垂れし黒変します。葉脈にそって白いカビ（モニリア菌）が付いているのがわかります。カビは、幼果にも感染し実腐れを発生します。



トップジン M 水和剤と展着剤

登録農薬のトップジン M 水和剤 2000 倍液を用意しました。薬効を持続させるため展着剤を添加します。



散布状況

薬剤散布に当り、学校休みの日に散布しました。作業者は、カップ、ゴム手袋、マスクを着用し、動力噴霧器で散布しています。

(へ) 野付小低学年の学習会



低学生の学習会

5月の作業中同校の低学年生が千島桜の観察勉強会を実施しに来ました。1人1人が質問をしてもらい、樹木医として説明する内容でした。少ない時間でしたが、学校のシンボルである野付の千島桜の貴重な勉強会だったと思っています。

2. 千島桜の治療(10月)

(イ) 着工前と完成



着工前



完成



着工前



完成

(ロ) 根系施肥作業



土壌改良資材



各種の資材搬入

資材の混合状況

土壌改良資材は、5月と同様の資材を搬入し、おのおのよく混合し混合土を作成しました。



施肥用の資材

穴あけ

上記作成の混合土にまるやま3号固形肥料、イーグル化成肥料、フジミンフォレストを用意しました。



まるやま3号施用

混合土施用

イーグル施用



フジミンフォレスト施用



1箇所当りの施肥完成

施肥は、金棒で穴あけを行い、まるやま 3 号固型肥料、混合土、イーグル、フジミンフォレストを施用し完成しました。



施肥の完成

(ハ) 幹の傷及び腐朽の外科処置



着工前



完成



保護剤の塗布状況

保護剤（トップジン M ペースト）の効力は、塗布後 3 ヶ月ほどといわれています。春 5 月に引き続き 2 度目の保護剤の塗布作業を実施しました。

（二）枝切り作業



長手ハサミ使用の枝切り



長手ノコ使用の枝切り



剪定ハサミ使用の枝切り



切口の保護塗布

春には、相当量の枝切り（枯枝等）を実施したのですが、10 月秋にも多くの枯枝が発生していました。原因は、不明ですが 100 年以上の老木のためなののでしょうか。とにかくできるだけ切除しました。野付の千島桜の樹冠部枝は、とても多くあります。これぐらいの枝切り作業は、来春の開花に影響がないようです。

（ホ）支柱の設置



支柱の設置



支柱とりつけ状況

完成



支柱の設置

千島桜は、上部に伸びるより横に長く伸長する性質があるようです。そのため枝の垂れ下がりが目立ち支柱でささえる処置が必要です。設置替えも含め支柱設置作業を実施しました。

(へ) 薬剤散布作業



トップジン M 水和剤



幼果菌核病防除対策としてトップジン M 水和剤 500 倍液を散布しました。落葉後で濃度を高めて散布しました。